

法人（事業所）理念	NPO法人いっぽの会は、奈良県内で主に聴覚障害児者に対する福祉サービスの充実をめざして活動している団体である。聴覚障害と知的障害等をあわせもつ「ろう重複障害者」のための就労や生活の場としての〈いっぽの家〉、聴覚障害児の発達支援や放課後支援をおこなうための〈すてっぷ〉、聴覚障害児者やその家族のために福祉サービス利用等の相談事業をおこなう〈ぼけっと〉の3つの事業所を運営している。		
支援方針	主に聴覚障害をもつ小学生～高校生を対象として、手話のある環境を整え、言語・コミュニケーション力の発達、基礎学力の向上をうながすとともに、同じ聴覚障害をもつ同年齢や異年齢の子どもたちと関わりながら自主性や社会性を育て、放課後の居場所づくりや社会的自立につながる力を身につけることを目的とする。		
営業時間	11:00～19:00 (学校休業期間) 10:00～18:00	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容			
本 人 支 援	健康・生活	自身の健康管理、安全や衛生意識の向上などをし支援する。補聴器や人工内耳の効果的な装用のための自己管理能力の向上のための支援。	
	運動・感覚	運動能力や体の使い方、バランス感覚の向上に向けた支援。さまざまなせいさく活動や作業学習などを通じた作業能力の向上に向けた支援。補聴器や人工内耳を効果的に活用し、聴覚活用をすすめるための支援。	
	認知・行動	集団活動でのきまりやマナーなどを理解し、実践するための支援。個々の子どもの認知特性やこだわりなどを把握し、それぞれの特性に寄り添いながら、集団生活に積極的に参加できるようにするための支援。	
	言語・ コミュニケーション	聴覚障害があるため言語習得や学習活動に多くの課題があることを踏まえ、個々の子どもの聴覚活用の状況や得意なコミュニケーション手段などを把握しながら、音声言語と手話言語の両方が使える環境を整え、学習習慣の確立や読み書き日本語の習得、教科学習の学力向上などにつとめる。	
	人間関係・社会性	同じ聴覚障害をもつ同年齢や異年齢の子どもとの集団形成を基本とし、手話環境を整えるとともに視覚的な情報提示をおこない、子どもたちにとって居心地のよい放課後の居場所づくりをおこなう。その中で自主性や社会性の向上、リーダーシップの育成などをめざす。	
家族支援	連絡帳や公式LINEなどで定期的に連携するとともに、保護者交流会を開催する。	移行支援	ろう学校の小学部、中学部と定期的にケース会議を開き連携を深めるとともに、在籍する地域の小学校などとも連携を図る。
地域支援・地域連携	地域の手話サークルや聴覚障害者協会などと交流を行う。	職員の資質の向上	他の事業所との連絡会や研修会などに積極的に参加し、資質の向上を図る。
主な行事等	保護者交流会および学習会（年3～4回）。買い物体験。公園お散歩。ハイキング。おたのしみ会。調理体験。交通安全教室。社会見学（消防署、中央市場など）。避難訓練（火災、地震、水害）。		